

特集担当者のオススメ

泣く子も黙る人気のコーヒー器具メーカーがつくったアウトドア用のスピーカー「自音」。実はコレ、電気を使わないスピーカーで、不要な振動を抑制することで実現したクリアな音質が楽しめるのも◎。しかも丸洗いOK。いつでもどこでもコーヒーを飲みながら優雅な空間を堪能しよう! 詳しくはP30を



総力特集 食べる・遊ぶ・つくる・寝る

P.14

みんなの アウトドアギア

空前のアウトドアブームの原点は、70年代後半に流行ったヘヴィデューティにある。質実剛健でガチなアウトドアズマンからのんびりキャンパーまで納得のスペックがてんこ盛り。不変のロングセラーアイテムから最新技術のハイスペックギアもラインナップ。大自然の中をはじめ街中でも役に立つ奇跡の道具の軌跡を辿る大特集!

- P16 焼く! 煮る! 食べる!
アウトドアの醍醐味がココにある!
- P18 ソロキャンからファミリーまでみんなで楽しめる
キャンプご飯が盛り上がるギア!
- P20 BLUETTI史上最最小最軽量で
アウトドアに勝たん!
- P22 いつでもどこでも使える
アウトドアな家電
- P24 サイクリング&パドルスポーツで
夏のアウトドアアクティビティ!
- P25 いつもの味を持ち運ぶ
アウトドアでもジブン珈琲!
- P26 アウトドアを満喫可能な
カスタムバイクを手に入れる!
- P28 アウトドアフィールドを楽しむなら
モンベルにおまかせ!
- P30 スッキリとしたスタイルが基本!
それ行け! スマートキャンプ
- P32 汗を利用した冷却機能オムニフリーズゼロ搭載
カップヌードル×コロンビア コラボTシャツ
- P34 これで決まり!
この夏のアウトドアウエア情報
- P36 寝たい・休みたい・くつろぎたい
アウトドアでの癒しギア
- P38 撥水! 軽量! 伸縮! 頑強! などキラーワードがてんこ盛り!
ワークウエアはアウトドアでも最強アイテムだ!
- P40 アウトドアテイストを感じる
インテリア&生活雑貨カタログ
- P42 あんなモノやこんなモノもあると便利
のんびりハイクの必携アイテム
- P44 アウトドアは冒険だ!
「本気」の頼れる体育会系なクルマ
- P46 本気すぎないノリで行くアウトドア
ユルかつこいいクルマ
- P48 軽自動車こそ車中泊の王道だ!
- P50 究極のセルフアイテムを作るためのツールを紹介!!
アウトドアギアをDIYする
- P52 これからの季節の相棒
クーラーボックスが夏の神器になる!
- P54 シチュエーションで選ぶ
この夏のアウトドアフットギア
- P56 アウトドアを楽しむならこの8台!
- P58 地球に優しい電動モビリティで
アウトドアを楽しむ
- P60 まだまだあるゾ!
究極アウトドア・アクティビティ報告! ベスト4
- P62 BESSの本気が空間に広がる
ほどほどではない「程々の家」!

mono

CONTENTS.2

2022 7-2 No.896

今月のイチ押し!

美音探検隊としてはやっぱり真空管ネタをイチオシしたい! とゆーわけで今回取材したトライオードが扱った米国ウェスタンエレクトリック社が遂に再生産した真空管の王様「300B」。1本11万円とオネダンも王様だが在庫払底・入荷待ちの大人気だとか。鳥肌が立つタマサウンドのトリコになってみないか? 詳細は78ページで。



【連載】

122

文と構成 / 河村喜代子 写真 / AAFES、米議会図書館、米陸軍、米海軍、WPPコレクション
Text & Edit / Kiyoko Kawamura
Photo / US Army & Air Force Exchange Stores,
Library of Congress, US Army, US Navy, WPP Collection

兵士が行くところならPX も行く。

ポスト エクスチェンジ物語 第14回

20世紀が始まったばかりのところで、アメリカは第1次世界大戦への参戦を決める。1918年7月までに、100万人を越えるアメリカ兵士が、ヨーロッパに渡っていた。彼ら兵士に食べさせて、着せて、眠らせるために陸軍ではクォーターマスターコー、補給部という組織が働いていた。海軍では、各所に置かれたネイビーヤードで、モノ作りが行われていた。

【特別企画】

074

出動! 美音探検隊

さまざまなリスニングスタイルがONになった昨今、美音を聞く手段もまた多岐にわたる。今回はさまざまな美音のスタイルを紹介する。

【好評連載】

100

monoの大捜査線

好評連載「大捜査線」はキッチンラボケンの新製品と埼玉県熊谷市のラグビー複合施設「さくらオーバルフォート」の2本を大ソーサしてお届けするぞ!

【特別企画】お待たせしました!

092

気分爽快 夏ビール

定番、クラフトはもちろん、新ジャンルもホームサーバーも盛り上がりを見せるビール市場。家でもソトでも手軽に飲めるこだわりビールをご紹介します! 冷えてま〜す!

【特集】

104

カバン買いたい新書

シゴトカバンはもちろんのこと、アップサイクルなカバン、トラベルカバン、一芸に秀でたカバンなどアレンジの効いたカバンをたっぷり掲載。

大 好 評 連 載 企 画 は こ ち ら !

mono編集部モノサシ	006
う〜ん、うなるもの	010
SINNデポ	012
みんなの時計	064
クロラボ	066
レイジング大谷の「IVYの名のもとに」	068
ミステリーキャスケット	073
金属恵比寿・高木大地の「恐怖の楽器塾」	087

宮内裕賀の「日本イカ化計画」	088
みうらじゅんの「今月のグッとくる宝物BEST2」	129
新製品情報	130
MONO進化論	134
モノショップ新聞	136
インフォメーション	138
バックナンバー&定期購読のお知らせ	139
次号予告	140

焼く! 煮る! 食べる!

アウトドアの醍醐味が



エスビット 1100ml クックセット

価格8140円

☎飯塚カンパニー ☎03-3862-3881

収納時にハンドルを折りたたんで固定でき不用意に開かない構造。メッシュバッグも付属する。



目盛り付きで、蓋はポットの縁に引っ掛けられるので蓋の置き場所に困らない。



煮炊きに十分な火力を発揮。防風を兼ねた五徳は、そのままポットに収納できるデザイン。

ご飯も炊けてスッキリ収納できる万能角形鍋

アルマイト加工された、アルミ製クックセット。容量1100mlのポットに固形燃料ストーブの五徳がセットされている。おなじみの袋麺を割らずに入れて茹でられるサイズで、バックパックに収納する際にも無駄なスペースがでにくい角形。固形燃料1個で2合までのご飯を簡単に炊くこともでき、様々な使い方ができる。頼もしい一台だ。

手軽に多彩なアウトドア料理が楽しめるパン



コールマン ダブルパンクッカー

価格4580円

☎コールマン カスタマーサービス ☎40120-111-957

ソロキャンプにも使いやすい、コンパクトなフライパン。直径は外寸16cm、内寸14.5cmで、厚めのステーキ肉や鶏肉なども余裕をもって焼けるサイズ。ハンドルを取り外すことができ、そのまま皿代わりになる。ふたをして挟み焼きをすれば、ランタンマークの焼き印が付いたキュートなホットケーキが焼きあがる。



アヒージョ

ギョーザ

ハンバーグ

バターコーン

目玉焼き & ソーセージ

ここにある

野外で食べる飯は、なぜあんなにも美味しいのだろう。焼くだけ、煮るだけの簡単調理でありながら、できあがった料理はまるで魔法がかけられたような美味しさだ。網の上で肉を焼いたり鉄板で焼きそばを作ったりするのもいいけれど、次のキャンプは最新のクッカーで魅惑の料理の数々を作ってみないか!

文/小林良介



AUTEC CAMP トライアングルグリル

価格2万3100円



音響機器メーカーの老舗、オーディオテクニカがアウトドアブランド「AUTEC CAMP」を立ち上げた。その第1弾として今月から発売となったのが、これら3つの製品だ。ひとつめは1~3人での使用を想定した焚火台。A4サイズに収納でき、専用の焼網と炭床が付属。精密機器メーカーらしく機能性・収納性・耐久性を追求した逸品だ。



AUTEC CAMP コックピット

価格1万3200円

ふたつめは上記のトライアングルグリルと同じく、調理に適した燃焼効率を実現した高性能な焚火台。組立て・解体が簡単で、焼網を動かさずに薪の操作ができる点も共通。調理したままでまきの位置を変えたり加えたりと、火力調整ができる。1~2人用で、製品重量1Kg以下というのは大きな特長だ。専用の焼網と、五徳が付属する。



3つめは、屋外でも本格的なドリップを実現するために開発された、折り畳み式ドリップアシストパーツ付コーヒードリッパーセット。約100℃の熱湯をドリップに適した温度まで下げつつ、抽出中の温度低下を緩和する設計。豆の近距離から穏やかに安定して注ぐことができ、抽出時にコーヒー豆の壁を崩さない配慮がなされている。



AUTEC CAMP ドリプロ

価格7700円



「AUTEC CAMP」のデビュー作が勢ぞろい。音響機器で培われた技術力が惜しみなく注ぎ込まれた、期待の新ブランドだ。オーディオテクニカと同じ、レコード針を模したロゴ入り。

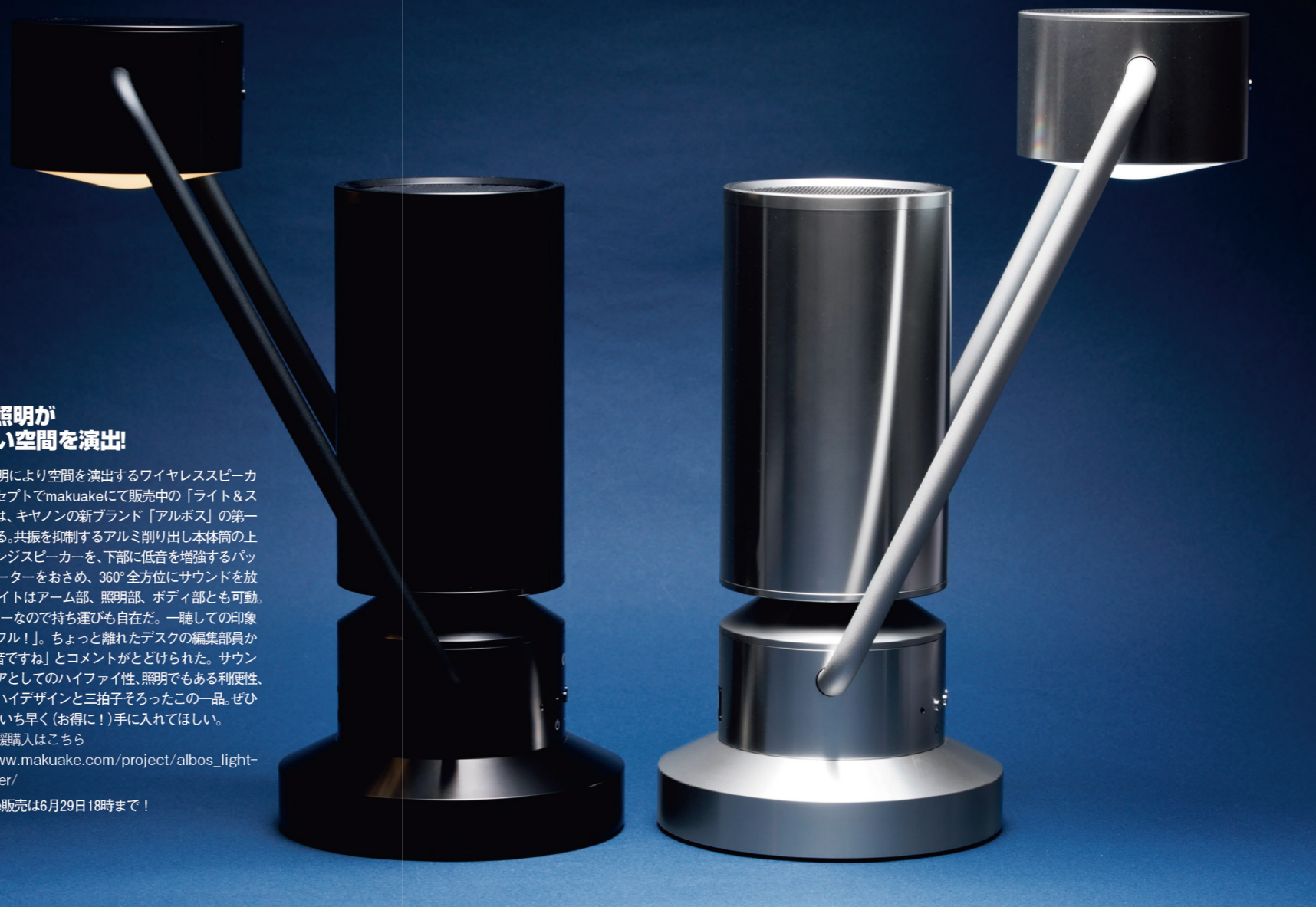
☎AUTEC CAMP <https://www.auteccamp.jp/>

みんなの
アウト
ドアギア

スクランブル! 美音探検隊

人類史上最長時間を音楽と触れて過ごしている我々にとって、音楽を「何で」聴くかのデバイス選びはクオリティ・オブ・ライフを左右する一大事。そこで美音探検隊がスクランブル! 買うべき音モノ、知るべき音情報を速報する。

写真 / 青木健悟 (W.P.P.) 文 / モノマカン編集部



特別企画

音響と照明が心地よい空間を演出!

「音響と照明により空間を演出するワイヤレススピーカー」のコンセプトでmakuakeにて販売中の「ライト&スピーカー」は、キャノンの新ブランド「アルボス」の第一号製品である。共振を抑制するアルミ削り出し本体筒の上部にフルレンジスピーカーを、下部に低音を増強するパッシブラジエーターをおさめ、360°全方位にサウンドを放射。LEDライトはアーム部、照明部、ボディ部とも可動。BTスピーカーなので持ち運びも自在だ。一聴しての印象は「パワーフル!」。ちょっと離れたデスクの編集部員からも「いい音ですね」とコメントがとどけられた。サウンドインテリアとしてのハイファイ性、照明でもある利便性、質感を伴うハイデザインと三拍子そろったこの一品。ぜひmakuakeでいち早く(お得に!)手に入れてほしい。
 ◎詳細と応募購入はこちら
https://www.makuake.com/project/albos_light-and-speaker/
 ※makuake販売は6月29日18時まで!



**アルボス
ライト&スピーカー**
 価格3万6000円~4万円
 (makuake購入時期により異なる)



美音とはなにか?

「いい音ってどんなもの?」これ実はものすごく難題、むしろ答えのない質問そのものと言っている。いい音とは「美味しい食事」「美しいデザイン」と同様、きわめて主観的な基準だからだ。だから「AアンプよりBアンプの方が大きい音が出る」といったスペックな比較優劣が可能だが「ではどちらがいい音か?」となるとこれは好

みでしかない。だがそれでもいい音はあるし、好みの音もある。それを求めて物色するのが「美音探検隊」の使命である。昨今リスニングといえばスマホをプレーヤーに、イヤホンかヘッドフォンで楽しむスタイルが一般的だ。サブスクなら無数の楽曲から選べるし、完全ワイヤレスイヤホンならスマートに楽しめる。他方、リモートワークが増えた影響でホームオーディオに興味向き始めた人も

目立ち始めた。いまはオーディオにとってなかなか面白い状況なのだ。デバイスの進化は著しい。きわめてリーズナブルな製品でも充分にいい音は楽しめるし、むしろ高級オーディオを突き詰めれば信じられない音楽体験が(しかも自宅で!)できる。要は何をどこまで求めるかだ。さあ君も、われら美音探検隊とともに、自分好みのサウンドとオーディオデバイスを探し出さなにか。

ユニークサウンドエクスプローラー シアタービート

価格2万9100円



無名ルーキーのホームラン!

キャッチは「デスクトップがシアターサウンドに包まれる」。全く知らないメーカーの新製品だが試聴して驚いた。独自開発の70mmフルレンジ平面スピーカー2基からなるサウンドステージの明瞭さ、広大ではないが適切かつ豊かな低域の再生が持ち味で、「スピーカーから50cmの範囲内で迫力ある音が聴ける」設計ゆえの、デスクトップシアターサウンドなのだ。ワイヤレス流行りのイマドキとしてはコード類がわずらわしい感じもあるが、そこはむしろ、コードをコーディネートして楽しむ余裕を持ちたいところ。入力はアナログミニジャックのみだがこれがシンプルで逆にいい。アンプがタブレットホルダーも兼ねるのも賢いアイデア。自分の耳にまっすぐに、スピーカーの角度と向きを調整するのが使いこなしのポイントだ。
 ◎ユニークサウンドエクスプローラー(担当: 金谷) ☎090-2384-9944



自宅でいつでも好きなときにできたて生ビールを堪能できる!

気分爽快夏ビール!!

贅沢なおうち時間を充実させるモノに人気が集まっているが、ビール界隈にあってはホームビアサーバーがその筆頭だろう。今回は昨年の本格始動以来、大好評のキリン「ホームタップ」とアサヒ「ドラフターズ」を都内某所に持ち出し、ビール好きのモノマガ編集部員3人が集まって試飲してみた。

写真/佐々木龍 文/下川冬樹

やっぱり、今注目なのは ホームビアサーバー!

自宅で自分の手で入れた生ビールを味わう極上時間

ホームビアサーバーのなごうに、ハイクオリティの生ビールを自宅で気軽に愉しめることだ。この日、ビール好きモノマガ編集部員三銃士が体験したのは「キリン」「ホームタップ」とアサヒ「ドラフターズ」。いずれも専用のボトルを生ビールサーバーのなごうにセットしたら、あとはサーバー外観にあるタップを手前に引いてグラスにビールを注ぐだけ。ある程度の量まで注いだらタップを奥側に押し戻すカタチで生ビールの泡を調整していくが、この作業もある種の職人感覚な気分が結構、嬉しい。自分好みの美泡を追求したくなってくる。本当に全部が簡単!自分の手で入れた、つくりたての生ビールが飲めるというのはビール好きにとってなかなか感慨深いものだ。季節ごとの旬限定ビールが充実している「ホームタップ」に、一度にセットできるボトルが2Lとたっぷり飲めてアウトドアモデルも展開している「ドラフターズ」とコンセプトはそれぞれ。このあたりは編集部員によるリアルな試飲レポートを参照いただきたいが、それにしても三銃士さんたち、最後はただの呑み会になっていたな。……。人生、たいていのことは美味しい生ビールで解決するのも、ビール党ならホームビアサーバー必須です!

泡がとってもなめらか高密度!

ASAHI THE DRAFTERS



専用ミニ樽をサーバー内にセット。あらかじめ冷やしておいたジョッキを45°に傾けてタップを前に倒し、ジョッキに沿わせるようビールを注ぐ。ビールと泡の黄金比7:3を目指し、ジョッキを少しずつ立てながら7分目まで注いだ後、タップを奥に倒して泡を注ぐ。

ビールと泡の黄金比率を追求するのが嬉しい!



タップを手前側に傾けてビールを注ぎ、タップを戻し奥側にゆっくりと倒していくとビールとは別口から高密度泡がジョッキに注がれる仕組み。

とにかくアサヒの粋がたっぷり盛り込まれているのが「ドラフターズ」だ。システムの中核となる専用の本格泡リッチサーバーはアサヒがこれまで培ってきた技術を惜しげもなく投入し、高濃度のクリーミーな泡と氷点下の美味さを実現した「プロ仕様」。人生を楽しむ大人たちを「ドラフターズ」と命名し、彼らに向けて本当にうまい生ビールを届けるため、アサヒビールの威信にかけて開発したという。自宅で愉しむスーパードライ・エクストラゴールドの味は格別だ。



専用の本格泡リッチサーバーを使って、これまでお店でしか飲めなかった氷点下のスーパードライを自宅で手軽に愉しめるスーパードライファンタジーのサービス。専用のビールミニ樽も1本2Lと大容量。たっぷり飲み続けたいあなたに最適だ。冴えわたるキレにシャープなノドごしを自宅でぜひ!

クリーミーなワトロ美人泡に感激!



クリーミーな泡の秘密は注ぎ出し口内部のバルブにあり。直径の違うバブルで何度もカット&トライを繰り返して最適なビールの注ぎ出し速度を実現。加えて狭すぎず広すぎずな絶妙のノズル先端の設計により、誰でも簡単にきれいな泡づけができる。

季節や旬で選べるビールラインナップが充実!



今シーズンなら左からフルーティな香りにきれいな後味「スプリングバレー豊潤(496)」、ど定番「一番搾りプレミアム」、爽やかな飲み口と華やかなホップ「ブルックリンラガー」、まるやかな口当たりでフルーティ「銀河高原ビール 小麦のビール」、ビール好きの魔の味「インドの青鬼」。

サービス概要

専用ビールサーバーは無料レンタル。ビールは都合に合わせて月2回自宅まで配達してもらえます。追加の注文やスキップ、ビールの種類変更も可。価格は月4Lコースが月額8250円〜、月8Lコースが月額1万2430円〜。https://hometap.kirin.co.jp/

KIRIN HOME Tap



専用ペットボトルを飲む前に冷蔵庫でよく冷やしておき、サーバーのスイッチをオンにし、炭酸ガスカートリッジやストローをセッティング。あとはタップを倒してグラスに生ビールを注ぐだけ。一度の食事で飲みきれない場合もサーバーの保冷機能で開封後48時間は美味しさをそのままキープ。

ビールの美味しい季節の到来だ!

ドラフターズにニューフェイス登場!



6月28日からレンタル開始の「どこでもサーバー」は電源なしでいつでもどこでも冷えた生ビールを注げるモバイルビアサーバー。これから旬な季節到来のキャンプやBBQなどアウトドアアクティビティでフル稼働間違いなし。通常の「ドラフターズ」利用に月額980円の追加料金のみで自宅と屋外用の2台持ちが実現できる!「どこでもサーバー」はWEBで詳しくご紹介!
https://www.monomagazine.com/44689/

モノマガの40周年にも乾杯だ!



美味い生ビールが手もとにあることで、今年迎えたモノ・マガジンの創刊40周年にあらためてモノマガお酒部でカンパ〜い! 家族や友人を招いての自宅での各種お祝いイベントでもホームビアサーバーが大活躍必至だ!

試してみました ホームビアサーバー

モノマガお酒部レビュー



編集部でもとりわけビール好きの前田編集長(中央)、小野部員(右)、小川部員(左)の3人が勝手に「モノマガお酒部」を結成。ビール党ならではの視点でキリン「ホームタップ」、アサヒ「ドラフターズ」をディテールまでガチチェック!

いやあ〜好きなきいっつも生ビールが飲めるなんていい時代になったものです。大のビール党の前田編集長はいかがですか?
ひんぱんに飲み屋にも行かないし、ホームサーバーは良いねえ。最近はクラフトビールも飲めるようになったし。
おっと、サーバーの話ですね。前田編集長が好きな「豊潤」はどのタイミングで飲みます?
濃厚味わいだからね。後のほうでゆっくり嗜みたいかな。複数あるとこういう選択できるのも嬉しいね!
アサヒの「スーパードライ」はお店でしか飲めない氷点下の味わいが愉しめるし、サーバーに一度に2L入ってたっぷり飲めるのもいいですね!
そつなのよ、どっちもキャラが明確でイイの。両方とも泡がクリーミーだけど、サーバーのノズルとかに秘密があるんでしょ!?
外見で分かる違いだとキリンは1口で液体と泡の両方

に対応するようになっていて、アサヒは2口で液体と泡がそれぞれ別口から出てきます。つくりの違いもおもしろいですよ。こういう両社のこだわりも注目っすね。
ビールも自宅に送られてくる仕組みなので、わざわざ買いに行かなくてもいいですね。いやあ、すっかりビアサーバーのオーナー気分。ところでさ太市、きょうのオトモは?
はい、これからこだわりの餃子が続々到着する予定です!
ビールと餃子といえば、日本人の国民食コンビじゃないー!今日は宴会だ! (会はその後も続く……)。

[ドリームビアにも注目したい]

60ブルワリー123銘柄のクラフトビールを届けてもらえる!



https://dreambeer.jp/



独自の家庭用本格ビールサーバーで全国各地の多彩なクラフトビールが愉しめる「ドリームビア」も今夏に向けて新展開。プリマブルレーイング「ゴールデンエール」をはじめ4銘柄を追加し、取り扱い銘柄は60ブルワリー123銘柄へ。各地のブルワリーとビール好きの人を橋渡しし、日本のクラフトビール文化の発展をサポートしている。

素材は自給自足& バッグ製造も自ら行う

(左) シートベルトはリールに巻かれていた未使用部分を使い、洗浄後に加工を行う。(右) 前席用と後席用で素材の硬さや強度などが異なるシートベルトは適材適所で使い分けも行われている。



①バッグの製作作業も上村さんが自ら行う。解体工場の敷地内にある義屋(ギヤ)工房にはミシンなどの機械が置かれ、裁断や縫製が行われるのだが、ひとつのバッグを完成させるのに要する時間は約8時間。本業終了後に行うため、夜の作業が多い。



②写真は廃車からのエアバッグ取り出し作業。エアバッグの素材は丈夫なナイロンのため、トートバッグの内袋にも最適。素材のカラーは白が多いが、ライトブルーやピンクなどもある。



③取り出したエアバッグは広げられ、必要な大きさに裁断される。エアバッグでつくった内袋とシートベルト製の外袋を組み合わせているのがギヤ製トートバッグの特長で、これが製品の品質を高める。



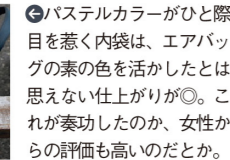
廃材利用ならではの“味”もグッド!

④隣り合うシートベルトとの段差がない仕上がりは圧巻の一言。カラーはシートベルトの色をそのまま活かしているが、最近のクルマはグレーなど暗い色のシートベルトが多いため、素材集めに時間がかかるそうだ。

⑤エアバッグのシリアル表記をそのままデザインとして活かしていることも特長のひとつ。ポケットに色違いのエアバッグ素材を使っているのもオシャレだ。



⑥パステルカラーがひと際目を惹く内袋は、エアバッグの素の色を活かしたとは思えない仕上がりが◎。これが奏功したのか、女性からの評価も高いのだとか。



長年連れ添った愛車の素材でカバンをつくってみない?



長く乗っていた愛車には数々の思い出がある。でも、いろいろな事情で廃車にしないままに……そんな人がいたら、愛車のシートベルトでバッグをつくってもらってはどうか? かつて一緒に過ごした愛車が品番タグもそのままに、バッグとなって日常を共にする。「我こそは!」という人がいたら、ぜひギヤに問い合わせを。

解体屋さんのカバン

サステナビリティ(持続可能性)が重要視される昨今、思いもよらない素材を使用したバッグが注目を集めている。そのバッグをつくっているのは何と! 群馬県藤岡市にあるクルマの解体屋さん。ユニークなバッグ誕生のきっかけとは?

LINE UP

- ① 車内バッグ エコポケ 価格7700円
- ② ランチバッグ 価格1万2800円
- ③ トートバッグ Sサイズ 価格1万3800円
- ④ トートバッグ Mサイズ 価格1万5800円
- ⑤ トートバッグ Lサイズ 価格1万7800円

シートベルトとエアバッグを使ったバッグのバリエーションは豊富で、とくに人気なのが汎用性のあるMサイズ。男性客には書類などが入れやすいLサイズが好評だ。

特集 カバン 買いたい新書

自

「車の解体工場ギヤ」。その代表を務める上村(かみむら)正則さんは解体業歴26年のベテランで、以前は解体工場に勤務していたが、2016年に独立してギヤを創業。現在、新たな挑戦として手がけているのが廃車から取り出したシートベルトとエアバッグなどを素材としたトートバッグづくりだ。

現在は日常や通勤で使用するバッグを中心にラインナップするギヤだが、シートベルト製バッグ誕生のきっかけは災害用救助バッグにあった。解体業以前は自衛隊で車体整備などを担当していた上村さんには災害派遣の経験もあり、そこで得た知見から廃車のシートベルトを使った救助バッグを発案した。シートベルトをらせん状に

実物を見たい人はショップでチェック!

解体工場の一隅に設けられた約2.5坪のショップスペース「エコリメ」。ここではギヤ製バッグの展示と販売が行われているが、店舗自体も廃材利用でつくったというのだから驚き。【住所】群馬県藤岡市中島493番地5(店舗開業時は要事前連絡)



編み、通常は配給された水や食料などを運ぶシヨルターバッグとして使い、「いざー」というときに解けば救助用ロープにもなるバッグで特許を取得している。

このような用途にも使える強靱なシートベルトは日常用バッグにも使えるのではないかと考えた上村さんは、本来は廃棄してしまうシートベルトやエアバッグを利用したバッグづくりを開始した。

もともとのづくりが好きな上村さんはバッグ製造を外注せず、自身で縫製などに挑戦。小学校での家庭科授業以来というミシンによる縫製を学び始め、試行錯誤の末に販売できる品質のバッグを完成させた。「失敗もしましたが、そこから学んだことも多かったです」と上村さん。縫製作業は本業終了後に開始し、深夜の工場事務所でもミシンと向かい合っていたという上村さんの情熱と努力には、ただ感服するほかない。

解体された自動車は金属素材がリサイクルされ、燃やせるものは燃料にするなど、実に99%が何らかのかたちで再利用される。しかし、残りの1%は廃棄されるのも事実で、上村さんが注目したシートベルトなどはこの1%に入っていた。それを活かすことで、よりエコな社会の実現に貢献したいというのも上村さんの思いだ。廃車から生まれたというのが信じられないほど高品質なバッグは好評で、さらなるバリエーションの追加も予定されている。これからの展開にも大いに注目あれ!

Publisher
今井今朝春
Keshaharu Imai

Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor
関谷和久
Kazuhiisa Sekiya

桜井靖人
Yasuhito Sakurai

Managing-Editor
松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki

Senior-Editor
小川太市
Taichi Ogawa

Editor
小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁
Satoru Otani

片岡静香
Shizuka Kataoka

加藤文晶
Fumiaki Kato

友井健人
Taketo Tomoi

竹本 泉
Izumi Takemoto

藪崎 大
Dai Yabuzaki

Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer
フェイスヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお
Tamao Itou

Staff Photographer
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥
Toshiya Suzuki

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

Correspondent, Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Mikako Burks

ワールドフォトプレス総合サイト

遊びにきてね!
モノ・マガジンweb
<https://www.monomagazine.com/>



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!

<https://www.facebook.com/monomagazine1982/>

<https://twitter.com/monomagazineweb/>

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集

■うーん、うなるモノ ■モノ進化論 ■mono編集部モノ差し

元気チャージ! 機能性飲料

ライフスタイルが大きく変わった今、健康を重視し食材や飲料を選ぶ「健康志向」の人が増えてきた。そこで今注目したいのが、気軽に飲めて身体に嬉しい機能性飲料! 夏の熱中症予防に最適なスポーツ飲料を始めとし、元気をチャージできるエナジー系ドリンク、成人病予防や腸活など、毎日気軽に健康対策できる機能性飲料を一挙にご紹介!

健康志向の夏、始まる!

特集

この夏こそ、ダイバーズウオッチ

卓越した防水性と耐磁性能、時間経過が瞬時に判別できる回転ベゼル、そして一般の腕時計をはるかに凌駕する耐衝撃性!。だからこそ安心して着用できるのがこの時計の魅力といえる。そこで、プロ仕様からスタイリッシュなタイプまで、最新モデルをお届けする。腕を露出させる夏だからこそ、ダイバーズウオッチで決めよう!

プロ仕様からタウンユースまで。

総力特集

僕らのウルトラマン PART 2

大好評のウルトラマン特集! 第2弾はさらにパワーアップ! 放送55年「ウルトラセブン」、25年「ウルトラマンダイナ」、テレビ新作「ウルトラマンデッカー」、大ヒット映画「シン・ウルトラマン」など注目アイテムと情報を満載! レジエントも多数登場! 日本中がウルトラマンモードの夏、モノ・マガジンもウルトラマン色に変身する!

新たなブームの渦中に送る決定版特集!

モノ・マガジン7-16情報号 NO897
7月1日(金)発売 特別定価 700円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人 ●今井今朝春
編集人 ●前田賢紀
発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1
アズ阿佐ヶ谷
TEL:03(6383)2331 [編集部]
03(5929)7682 [メディアビジネス部]
03(6383)2390 [販売部]
FAX:03(6383)2583 [編集部]
03(6304)9443 [メディアビジネス部]
03(6383)2574 [販売部]
印刷所 ●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えます。
●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。
実勢価格は編集部調べの価格です。